

平成27年度資産運用状況について

林業退職金共済事業等勘定 給付経理

資産運用に当たっては、中小企業退職金共済法及び関係省令・告示並びに[運用の基本方針](#)に則り実施いたしました。林退共制度の健全性の向上に必要な運用収益を確保するため、最適な資産の組み合わせである[基本ポートフォリオ](#)に沿った資産配分を行い運用を実施いたしました。

平成27年度の資産運用は、自家運用では安定した収益を確保しました。委託運用では中国市場の混乱や原油価格の下落を契機に、世界経済の先行き不透明感が台頭し、国内株式市場が下落したため、国内株式の収益が大幅なマイナスとなりましたが、国内債券の収益がプラスとなり収益を確保しました。

平成27年度末の運用資産残高は141億17百万円となり、当期の運用収益は3億8百万円（運用収入が3億8百万円、運用収入のうち金銭信託評価益は2億15百万円）、決算運用利回りは2.23%となりました。

なお、負債の増加により当期総損失は1億15百万円を計上し、累積欠損金は9億11百万円となりました。

資産運用の内訳としては、[自家運用](#)は期末運用資産残高88億87百万円、運用収益94百万円、決算運用利回りは1.07%となりました。

[委託運用](#)は期末運用資産残高52億30百万円、運用収益2億15百万円（費用控除後）、決算運用利回りは4.20%となりました。

委託運用のうち金銭信託に係るパフォーマンスは、資産別では、国内債券・国内株式は[ベンチマーク](#)を上回り、外国債券はベンチマークを下回りましたが、全体ではベンチマークに対する超過収益率が0.78%となりました。

資産運用状況

➤平成27年度の資産運用状況は、下表のとおりです。

(単位:百万円)

運用の方法等		資産額	構成比	運用収入 ①	運用費用 ②	運用収益 ①-②	決算運用 利回り	
自 家 運 用	有 価 証 券	国債	599	4.24%	25	-	25	1.59%
		政府保証債	5,741	40.67%	67	-	67	1.16%
		金融債	900	6.38%	2	-	2	0.27%
		計	7,240	51.28%	94	-	94	1.16%
	預 金	短期運用	-	-	0	-	0	0.03%
		普通預金	1,647	11.67%	-	-	-	-
		計	1,647	11.67%	0	-	0	0.01%
計		8,887 <8,742>	62.95%	94	-	94	1.07%	
委 託 運 用	金銭信託	5,230	37.05%	215	-	215	4.20%	
	計	5,230 <5,117>	37.05%	215	-	215	4.20%	
合 計		14,117 <13,859>	100.00%	308	-	308	2.23%	

- (注) 1. 資産額の<>内の金額は、平均残高である。
 2. 決算運用利回りは、運用収益を平均残高で除した数値である。
 3. 単位未満は四捨五入しているため、内訳と計が一致しないことがある。

運用収益及び決算運用利回りの推移

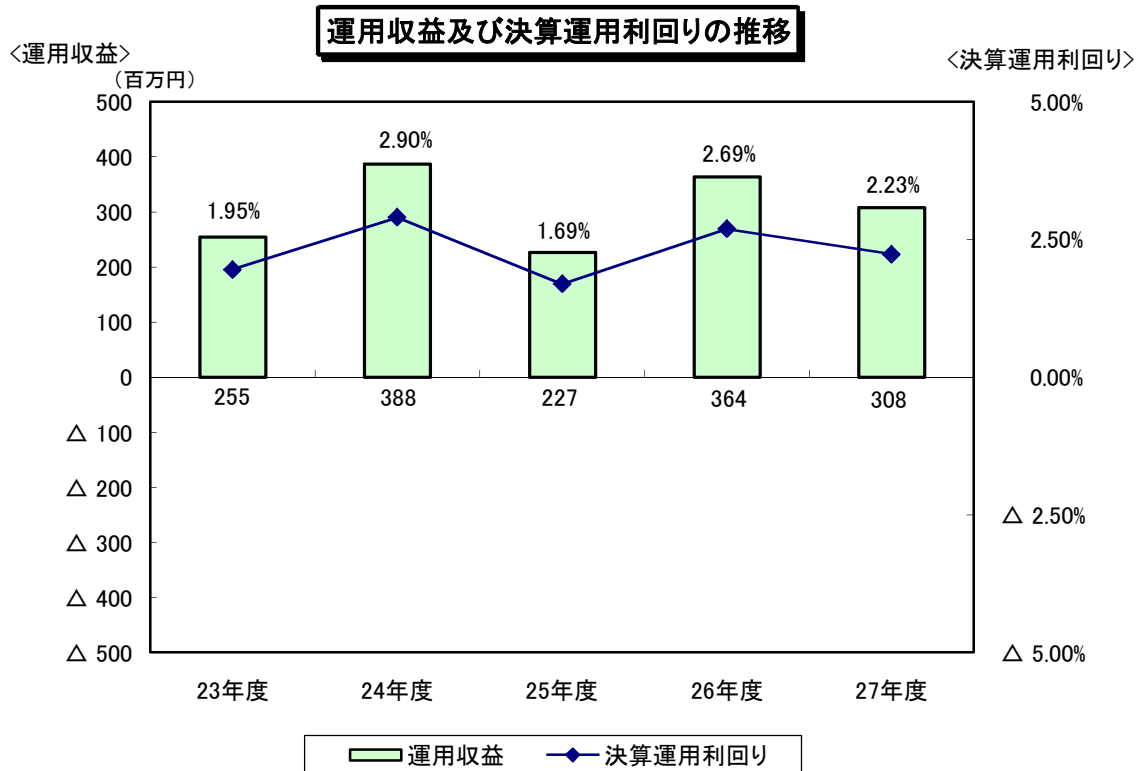
➤過去5年間の運用収益及び決算運用利回りの推移は下表のとおりです。

(単位:百万円)

運用の方法等		23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
自家運用	有価証券	111	110	108	105	94
	預金	0	0	0	0	0
	計	111	110	108	105	94
委託運用	金銭信託	138	275	119	260	215
	生命保険資産	4	3	-	-	-
	有価証券信託	1	-	-	-	-
	計	143	278	119	260	215
運用収益の合計		255	388	227	364	308

決算運用利回り	1.95%	2.90%	1.69%	2.69%	2.23%
---------	-------	-------	-------	-------	-------

- (注) 1. 運用収益は費用控除後の額である。
 2. 単位未満は四捨五入しているため、内訳と計が一致しないことがある。



自家運用資産の構成状況

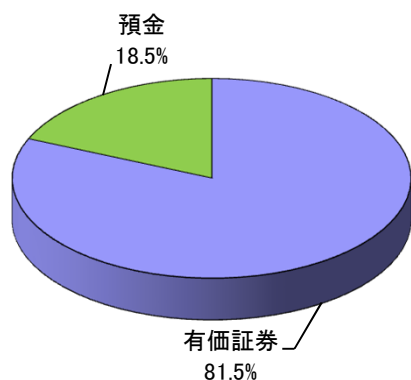
➤ **自家運用**は、元本の償還や利払いが確実な政府保証債を中心に運用し、平成27年度末の資産額は88億87百万円で、政府保証債の割合は64.6%となっています。

(単位:百万円)

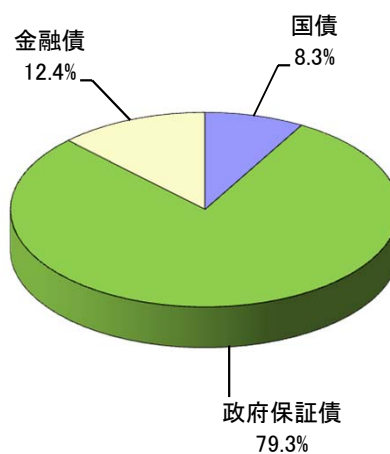
運用の方法等		資産額	構成比		
				有価証券構成比	
自家運用	有価証券	国債	599	6.7%	8.3%
		政府保証債	5,741	64.6%	79.3%
		金融債	900	10.1%	12.4%
		計	7,240	81.5%	100.0%
自家運用	預金	短期運用	-	-	/
		普通預金	1,647	18.5%	
		計	1,647	18.5%	
合計		8,887	100.0%		

(注) 単位未満は四捨五入しているため、内訳と計が一致しないことがある。

自家運用構成比



有価証券構成比



委託運用資産の構成状況

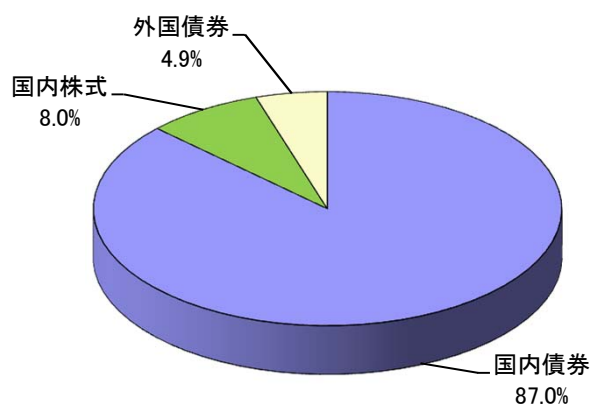
➤平成27年度末の委託運用のうち、金銭信託は、銀行(1社)に運用を委託し、資産額は52億30百万円となっています。

(単位:百万円)

運用の方法等			資産額	金銭信託 構成比
委 託 運 用	金 銭 信 託	国内債券	4,551	87.0%
		国内株式	421	8.0%
		外国債券	258	4.9%
		合計	5,230	100.0%

(注) 単位未満は四捨五入しているため、内訳と計が一致しないことがある。

金銭信託構成比



金銭信託の収益率

➤平成27年度は、委託運用資産のうち金銭信託の**時間加重収益率**は、資産別にみると国内債券・国内株式は**ベンチマーク**を上回り、外国債券はベンチマークを下回りました。
また、時間加重収益率の資産合計は4.57%となり、全体ではベンチマークに対する超過収益率は0.78%となりました。

資産区分		時間加重収益率	ベンチマーク	超過収益率
金 銭 信 託	国内債券	5.97%	5.40%	0.56%
	国内株式	△6.70%	△10.82%	4.12%
	外国債券	△2.94%	△2.74%	△0.19%
	合計	4.57%	3.79%	0.78%

(注) ベンチマークの合計欄は、構成比による加重平均である。

【時間加重収益率】

・キャッシュフローが発生するごとに期間(時間)を区切り、各期間ごとに収益率を計算し、最後に複数の期間ごとの収益率を掛け合わせる(加重)ことで求めた時価ベースの収益率である。

【ベンチマーク】

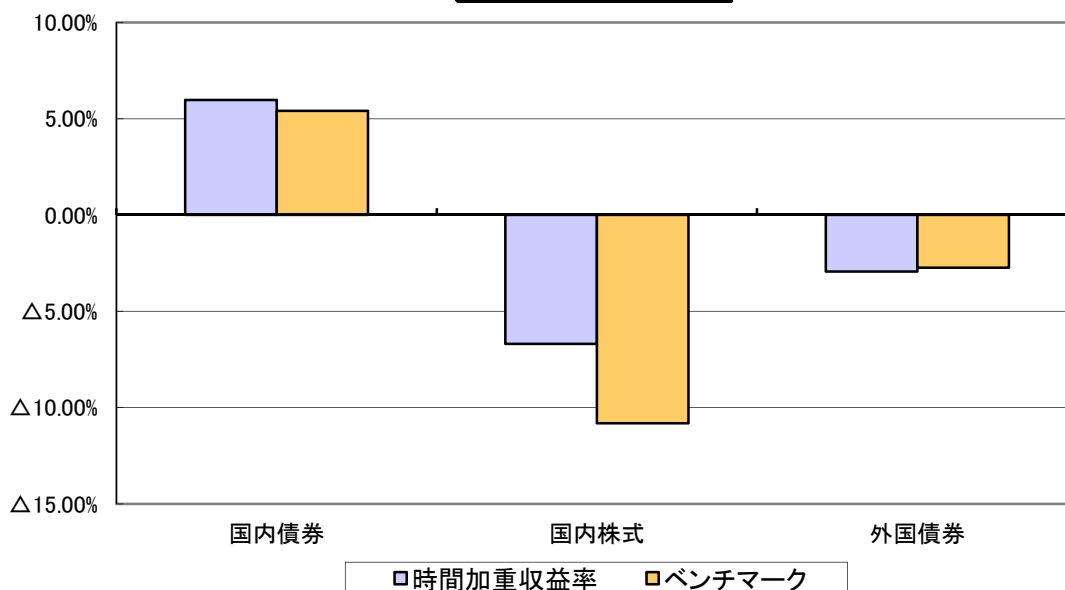
・運用成果を測るための基準となるもの。運用機関がどれだけの収益率をあげたかという絶対的な判断ではなく、市場に対してどうであったかという相対的な判断(ベンチマーク評価)をするときの基準値となる。

国内債券: [NOMURAボンド・パフォーマンス・インデックス\(総合\)](#)

国内株式: [TOPIX\(配当込み\)](#)

外国債券: [シティ世界国債インデックス\(日本を除く、円換算\)](#)

金銭信託の収益率



運用資産の構成状況

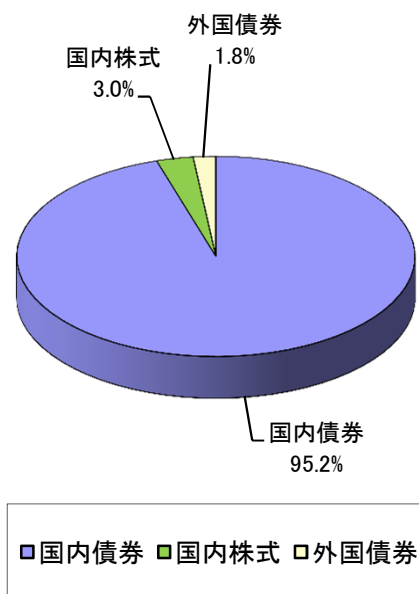
➤平成27年度末の資産構成状況は、[基本ポートフォリオ](#)に定める資産配分に対する[乖離許容幅](#)の範囲内を維持しました。

(単位:百万円)

資産区分	基本ポートフォリオ	乖離許容幅	資産額	資産構成比	乖離状況
国内債券	95.6%	±2.0%	13,438	95.2%	△ 0.4%
国内株式	2.6%	±1.0%	421	3.0%	0.4%
外国債券	1.8%	±1.0%	258	1.8%	0.0%
合計	100.0%	—	14,117	100.0%	—

- (注) 1. 国内債券には、預金が含まれている。
2. 単位未満は四捨五入しているため、内訳と計が一致しないことがある。

資産構成比



基本ポートフォリオ乖離状況

